

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
11000	X-01-A-1-110001	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
政治学	越智 敏夫			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	基礎	選択	1年	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	選択	1年	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年	

授業目的

政治を人間によって繰り返される行動のひとつとして理解し、その政治の網の目の中で私たちはどのように認識し行動するべきか、その基本的な方法について考える。現実政治のなかの時事的な出来事についても言及しながら、「市民」概念の現代的意義を特に議論したい。それらの作業は国際社会で必要な知識を身につけることにも強く結びついている。

各回毎の授業内容

<p>第1回 【授】1 はじめに 1-1 日常世界の認識方法：主体としての市民 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第2回 【授】2 政治とは何か 2-1 政治の定義 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第3回 【授】2-2 政治秩序 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第4回 【授】3 政治の認識方法 3-1 政治理論 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第5回 【授】3-2 状況・制度・組織 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第6回 【授】3-3 権力と支配 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第7回 【授】3-4 権威とリーダーシップ 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第8回 【授】3-5 シンボルとイデオロギー 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p>	<p>第9回 【授】4 国家とは何か 4-1 国家の概念 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第10回 【授】4-2 ヨーロッパにおける古代と中世 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第11回 【授】4-3 近代社会 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第12回 【授】4-4 近代国民国家の変容：夜警国家と福祉国家 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第13回 【授】5 政治体制 5-1 民主主義と独裁 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第14回 【授】5-2 政治システム 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第15回 【授】6 まとめ 6-1 市民の政治とは何か 【前・後】【予習2時間、復習2時間】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p> <p>第16回 【授】定期試験 【前・後】教室で記録した自分のノートとウェブページで公開している講義ノートと比較しながら当該箇所の重要な論点とそれに関する自分の見解をまとめておくこと。</p>
--	---

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	20	20	20	20	20		100
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

学期末筆記試験(持ち込み不可)のみで採点。

なお講義内容によっては、講義終了時に受講生にコメントカードを提出してもらいますが、それらへのフィードバックとして、次回講義中、必ずその記述内容に対する教員側の意見を公表する時間を確保する。また、講義全体のフィードバックとしては、定期試験採点后、各年度の答案に共通してみられる傾向や問題点などについて、教員個人のウェブサイト上で公表する。またそれらの傾向や問題点が特に重要で、全受講生に告知する必要があると認められる場合には、大学ポータルサイトの一斉メール配信システムを利用して全受講生に告知する。

教科書参考書

教科書なし。参考文献は講義中に適宜指示する。また図書館のサイトの「指定図書リスト」を参照のこと。

受講に当たっての留意事項

講義ノートを本学のウェブページ上で公開する予定なので、受講前に各自でプリントアウトして教室に持参すること。また、本講義は全カリキュラムにおいて政治的現象を学ぶための基礎となるものである。「日本政治論」「日本政治史」「国際政治学」「国際政治史」などを受講予定の学生は履修しておくことが望ましい。

学習到達目標

各自の利害関係を前提としながらも、複雑な政治現象を科学的に認識する方法を身につけてもらいたい。好悪や損得以外にも政治を動かす原理があり、それを認識することで社会変革の可能性を責務として自覚する存在が市民である。市民となる方法を獲得することが本講義の目標である。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習